

人づくりまちづくり 情報誌

# あくていぶ

No.

77

令和5(2023)年  
3月15日号



わがまちたかつき  
切り絵紀行

「ボタンの咲くころ」(田能)

いくち たかよし  
切り絵 作：生地 高芳(高槻市在住)

## 特集

わたしの幸せ あなたの幸せ みんなの幸せ

「あくていぶ」は行動的、活動的な心と心のふれあいを求めて名づけられました

# わたしの幸せ あなたの幸せ みんなの幸せ

人権週間記念事業として、令和4年12月9日(金)、10日(土)の2日間にわたり、高槻市立生涯学習センターで、人権を考える市民のつどい「わたしの幸せ あなたの幸せ みんなの幸せ」(主催：高槻市、企画運営：高槻市人権まちづくり協会)を開催しました。講演会と特別展「世界人権宣言から～絵画と谷川俊太郎さんの文章～」、人権啓発作品入選作品展が行われ、444名の来場がありました。



▲三遊亭楽生さん(落語家)。6代目三遊亭円楽の総領弟子。本格的な古典落語では声量の豊かさともりハリが特徴。

## 講演会「江戸時代に学ぶ人と人とのつながり」から

### 「自分が幸せになるためには、まず笑顔」

笑うことは健康に良いですし、笑うことで幸せが訪れます。昔から「世のため、人のため」と言う言葉がありますが、そこには自分という言葉が入っていません。人権とは人を幸せにすることです。そのためには、自分も幸せにならないといけません。自分が幸せになるにはまず笑顔です。笑顔は波及していきます。笑顔のバトンです。自分が幸せになって、それを分けてあげるのです。

### 「きれいなあいさつで、みんな幸せに」

声を発するのと、意味をのせるのは別物です。だれかを気持ちよくするために、あいさつをします。  
ことだま言霊ことだまって言いますね。言葉に意味をもって、投げかけなければなりません。

人は承認欲求があって、名前を言ってもらえると、うれしいものです。あなたを温めることになります。また「好き」の反対は「きらい」ではありません。「どうでもいい」です。この「どうでもいい」が一番、恐いです。世のため、人のため、自分のため、みんなが幸せになるため、思いをこめて、きれいなあいさつをしましょう。

### 講演会 の 感想より

- 笑うということがすごく大事と分かりました。自分が幸せになるのが一番。あいさつが大切。色々なことが勉強になりました。
- 人権課題などの難しいテーマではなく、人と人とのつながり、人情話としてハードル低く、お話を聞いたのが良かったです。

## 特別展 世界人権宣言から ～絵画と谷川俊太郎さんの文章～



▲世界人権宣言を美しい絵画と優しい言葉で啓発

世界人権宣言は、「あらゆる人が誰にも侵されることのない人間としての権利を生まれながらに持っている」と表明したものです。世界人権宣言は30条からなり、第1条と第2条で人権の基本的原則を掲げています。第3条から第21条までは、生存、個人の自由、身体の安全の保障、市民生活や政治参加における権利などを定め、

第22条から第27条では経済的、社会的、文化的権利を定めています。第28条、第29条、第30条は人権と社会秩序の関係、人権行使にともなう社会に対する責務、人権行使の制限を述べています。

今回の特別展では、各条文を表現した絵画と共に、谷川俊太郎さんと国際人権NGOアムネスティ日本がすべての条文を分かりやすい日本語にしたパネルを展示しました。

# 人権啓発作品入選作品を展示



令和4年7月から10月にかけて募集した人権啓発作品は、作文284点、標語1,541点、絵画279点、計2,104点の応募があり、部門ごとに最優秀賞、優秀賞、佳作が選定され、12月9日（金）、10日（土）の2日間展示ホールに入選作品を展示しました。

◀入選者による高槻市人権擁護都市宣言文朗読

絵画の部最優秀賞作品「ハトとピースマーク」▶



**講評より** 「平和の象徴であるハトを中心に、ピースマーク、ハートマーク、にっこりマークをうまく組み合わせ、多様性を象徴するレインボーフラッグの色（赤、オレンジ、黄、緑、青、紫）が配色され、平和と人権の大切さがとてもうまく表現された作品です」

## 展示を見ての感想より

- ・谷川俊太郎さんの文章とイラストは、とても見ごたえがありました。もっとたくさんの人や子どもたちに見てもらいたいです。
- ・世界人権宣言を30条まで、これまですべてに目を通したことがなかったが、谷川さんの特別展の絵と文章とで分かりやすかった。
- ・子どもの作文を拝見し、感動をおぼえ、涙ぐみました。この子どもたちの将来が一人ひとり尊重される社会になっていることを切に願います。
- ・若い世代が人権について考え、学んでいることがわかり、良かったです。
- ・子どもたちがまっすぐな心で感じたこと、考えたことを作品として表現していて素晴らしいと思いました。

## 令和4年度人権啓発作品入選者

### 作文部門

入選	名前	作品名	学校名等
最優秀賞	下埜 夏梨	私	五領中学校 2年生
優秀賞	佐々木 遥	優しいヒーロー	五領中学校 2年生
優秀賞	松村 海希	微力だけど無力じゃない	城南中学校 1年生
優秀賞	吉村 智紗季	言葉で心を大切に	城南中学校 1年生
優秀賞	藤田 笑奈	いじめのない世界	如是中学校 2年生
佳作	▶五領小学校 3年生 野口 丈太郎 ▶五領中学校 2年生 明田 美優 ▶五領中学校 2年生 松島 葵 ▶五領中学校 2年生 松永 有生 ▶第四中学校 2年生 上野 惟愛	▶城南中学校 1年生 棚橋 音和 ▶川西中学校 3年生 糸山 遙花 ▶川西中学校 3年生 大塚 凜彩 ▶川西中学校 3年生 小霜 真央 ▶如是中学校 2年生 関 春陽	

### 標語部門

入選	名前	作品名	学校名等
最優秀賞	東村 彩里	いじめの根	冠小学校 5年生
優秀賞	濱崎 七海	心の声によりそって	桃園小学校 6年生
優秀賞	大戸 正剛	取り戻せない心	北日吉台小学校 5年生
優秀賞	吉永 百里	無題	五領中学校 1年生
優秀賞	大原 さかえ	あのな おばあちゃん(多様性の尊重)	一般
佳作	▶如是小学校 4年生 林 紗更 ▶五領小学校 5年生 藤沢 祐里 ▶川西小学校 6年生 松久 真子 ▶川西小学校 6年生 山下 由莉奈 ▶富田小学校 6年生 文山 玲志	▶冠小学校 5年生 中須賀 悠 ▶北日吉台小学校 5年生 岡崎 渚 ▶北日吉台小学校 5年生 柿本 陽菜 ▶第九中学校 2年生 岸菜 心陽 ▶平安女学院大学 1年生 藤原 紗苗	

### 絵画部門

入選	名前	作品名	学校名等
最優秀賞	織田 信太郎	ハトとピースマーク	真上小学校 6年生
優秀賞	隈本 裕貴	一人ひとりが頑張る平和	真上小学校 6年生
優秀賞	小石 誠也	平和な街	真上小学校 6年生
優秀賞	竹下 愛梨	笑っていても 平気じゃない	第三中学校 2年生
優秀賞	田辺 憲子	命の大切さ	一般
佳作	▶桃園小学校 1年生 たにがわ なお ▶玉川小学校 6年生 佐野 陸也 ▶真上小学校 6年生 赤木 結菜 ▶真上小学校 6年生 高取 向葵 ▶真上小学校 6年生 新田 玲心	▶第三中学校 2年生 平島 季弥 ▶第九中学校 2年生 神吉 優咲 ▶第九中学校 2年生 城市 琴穂 ▶五領中学校 1年生 上戸 葵生 ▶平安女学院大学 1年生 新井 柚香	

## 人権啓発作品 市内巡回展示

令和4年12月～令和5年2月にかけて、人権啓発作品入選者の作品を市内10箇所で開催しました。変容していく人権課題に触れた作品や、力強い作品を身近に感じて、一人ひとりが「自分の問題」として捉え、家庭や学校などあらゆる場面で、お互いの人権を尊重し合う機会になることを目的として開催しています。

### 今年度の作品展示施設

富田ふれあい文化センター・春日ふれあい文化センター～今城塚公民館～冠コミュニティセンター～如是公民館～三箇牧公民館～北清水公民館～五領公民館～真上公民館～日吉台公民館

あちこち訪問

# こども本の森 中之島

要・事前入館予約

■ お問い合わせ・事前予約はこちらから

→<https://kodomohonnomori.osaka>

■ 大阪市北区中之島1-1-28

■ 京阪中之島線「なにわ橋駅」3号出口すぐ

地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋駅」1号出口、

地下鉄堺筋線・京阪本線「北浜駅」26号出口から約400m

令和5年1月27日（金）に「こども本の森 中之島」を訪問しました。川の流りに沿うようにコンクリート打ちっ放しの建物は、建築家の安藤忠雄さんが設計し、大阪市に寄贈されました。運営は企業や市民の方々からの寄付で成り立っています。

子どもたちの読書離れが言われて久しくなりますが、そんな子どもたちに「少しでも本にふれて欲しい」「興味ある本を見つけて欲しい」「読書は心の栄養になる」という安藤さんの思いがこの施設に込められています。

安藤さんはこのように言っておられます。「ネットを通じて、あらゆる情報が入手できる現代において、あえて自ら身を運び、本を手にとって吟味する面倒くささ

が重要です。面倒くさいプロセスを経て、自分で選び、身体を通して判断力を養うことが大切です」。

この施設は図書館ではありません。言うならば図書施設、文化施設です。だから「お静かに…」の張り紙はありません。声を出して読み聞かせをしても、音読をしてもいいです。そして階段でも本棚の隙間でも、どこでも好きな所で読むことができます。

建物内は、3フロア分の壁がすべて本棚になっていて、まさに「本の森」の様です。そして、まるで大きな木の根っこの様な大階段や、迷路の様なブリッジ通路、ひんやりとした何も無い薄暗い円筒吹き抜けの空間、子ども目線にあわせて作られた窓際の椅子等、「何を、どこで、どんなふうに」を自分で決めるための様々な工夫、仕掛けが施されています。

所蔵される約2万冊の本は12のテーマに沿って配架されています。選書のコンセプトは「子どもを子どもあつかいしない」です。ですから、一つのテーマの本棚には絵本から辞書、専門書までが並んでいます。絵本を読んで興味を持った時は、隣にある難しそうな専門書を広げ、または読めなくても綺麗な絵や写真を眺められるよう、広がる興味を止めない工夫がされています。対象年齢にとらわれない「見る、読む、聞く、触れる」本は、インターネットでは経験できない新しい世界へと繋がるかもしれません。



▲迎えてくれたのは、ビル街にひときわ目を引く「永遠の青春」と名付けられた巨大な青りんご。設計した安藤忠雄さんは「未熟で酸っぱくとも明日への希望へ満ち溢れた青りんごの精神」と言葉を寄せています。



▲ビジネス街の大阪淀屋橋は市役所や公会堂、美術館が並ぶ。その一帯の中之島公園内に令和2年誕生しました



▲絵本から図鑑まで約2万冊が収容された本棚は、まるで本の森のよう



▲「子どもにとって最も遠いものである死を意識することで、逆に生きていることの実感がわいてくるのではないのでしょうか」と伊藤真由美館長から配架の説明を受けました

## 参加者の感想

●久しぶりに絵本を手に取りました。「知らなくてはなりません。水不足や環境の悪化が、今ある危機の原因ではないのです。本当の原因は私たちがめざしてきた幸せの中身にあるのです。見直さなければならぬのは、私たち自身の生き方なのです。貧乏とは少ししか持っていないことではなく、無限に欲があり、いくらあっても満足しないことです」(「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」より) ウルグアイ元大統領ムヒカさんの絵本でした。いい本、好きな本はいつまでも読み続けていきたいものです。最近、ネットの普及で情報が簡単に手に入り、文字や本離れになり「無書店自治体」が増えてきていると聞きます。孫たちに改めて本の価値を伝えたいと思いました。

## 参加者の感想 つづき

- マンガから図鑑まで、様々なジャンルの本を自由に手に取ることができ、乳幼児からすべての子どもたちに「日常生活や好奇心を持ちながら知識を養い、自分で物事を見、判断し、将来の自分たちが日本や世界を作っていくような、その為の場がこの施設だ」という建築家・安藤忠雄さんの思いに感動した。
- 気に入った本が見つければ、中央に位置する大きな階段の真ん中でも、自然光の差し込む隅っこでも、又は気に入った本を一冊持って堂島川のほとりでも…。読む場所はどこでも良い。本がちょっと苦手な子どもさんも、本が大好きになりそうだ。
- 訪問の日、私は「ミス高槻」となった。いいえ、皆が考える意味ではなく、自分のミスで待ち合わせ時間に遅れたのだ。すっかりへこんでいたが、この施設に足を一步踏み入れたとたん、かつて体験したことのない異空間に電流が走った。安藤建築ならではの施設や仕掛けのとりことなった。子どもはもちろん、大人でも価値観が覆るほどの衝撃だ。誰にも強要されず、自分のペースで本を広げたり座り込んだりできる場所で、遊びながら興味のある本と出会えたなら…。ましてや、能力や適性に合致したそれが見つかったなら、個性も伸び、メンタルサポートにもなる。スマホでは担えにくい心を育む空間、ここに見つけた。



▲何とも心和らぐ雰囲気  
に包まれる、館内の空  
間や堂島川に沿って弓  
なりに伸びる照明

## コラム

# 天網恢恢疎にして漏らさず

表題「天網恢恢疎にして漏らさず」の読み方は「てんもうかいかい、そにしてもらさず」です。その言葉の意味は「天の張る網は、ゆったりとして粗いようであるが、悪人を網の目から漏らすことはない。悪事を行えば、一時的には逃げおおせるなど、うまくいったように見えるが、結局は捕らえられた後、その報いを受ける」ということです。

私の在職中、ある学校のトイレで、大便器にトイレトーパーが突っ込まれて使えなくする位ざらに何度か続いたことがありました。そのつど片付けて、張り紙をし、各クラスで担任の先生の方から注意をしましたが、いたずらは止まりませんでした。

そんなことがあった月の全校集会で、この「天網恢恢」の話と芥川龍之介の「蜘蛛の糸」を子どもたちにしました。

「蜘蛛の糸」の話を簡単にご紹介します。

「ある日、お釈迦様が地獄をのぞくと、血の池地獄で、もがき苦しんでいるカンダタが見えました。カンダタは生きている時は、殺人や放火など多くの悪事を犯した大泥棒でした。しかし一度だけ良いことをしたことがありました。それは、道を横切る小さな蜘蛛の命を思いやり、助けたことがあったのです。お釈迦様がカンダタの上に細い蜘蛛の糸をたらしめました。カンダタはこれで地獄を抜け出せると、一生懸命に上へ上へとほっていきました。後、少しで極楽に届きそうな所まで来た時、ふと下を見ると、無数の亡者どもが細い蜘蛛の糸をよじ登ってきています。それを見たカンダタは

「コラ！ 亡者ども！ この糸は俺のものだ。下りろ！ 下りろ！」

と、大声で叫びました。

すると、蜘蛛の糸がプツンと切れてしまい、カンダタは亡者たちといっしょに血の池に落ちていきました。この様子を極楽から見ていたお釈迦様は悲しそうな顔をして、その場を去りました」

というお話をした後、子どもたちに

「だれも見えていないと思って、いけないことをしたことがある人がいると思います。だれも見えていないと思って、実は見えている人がいます。だれだと思えますか。それは自分自身です。そして、自分自身が見たことは、すべて閻魔大王の浄玻璃じょうはりの鏡に映し出されるそうです。だれも見えていないと思って、必ずだれかが見えていると思って自分の行動を正していくことは大切なことですよ」

と、付け加えました。その後、トイレのいたずらはピタッと止まりました。

高槻市人権まちづくり協会 人権啓発指導員 藤澤善富



芥川龍之介 著  
『蜘蛛の糸・杜子春』  
(新潮文庫刊)

# 地域が元気でいきいきと

高槻市人権まちづくり協会は、中学校区ごとに地区単位会を設立し、地域の様々な団体と連携しながら、人権講座や研修会など、市民が中心となり心豊かなまちづくりに取り組んでいます。

各中学校区地区単位会の主な活動を紹介します。

校区名	主な活動内容
第一中学校区	日 時 令和4年11月29日(火) ふれあいアップ講座 テーマ 人生、山あり、谷あり、落語あり 共 催 市立城内公民館
第二中学校区	日 時 令和4年6月25日(土) ふれあいアップ講座 テーマ アニメビデオ「ハッピーバースデー命輝く瞬間！」 共 催 市立真上公民館
第三中学校区	日 時 令和4年12月3日(土) 三中校区人権研修会 テーマ 自分を守り、人を傷つけないSNSとは ～最新の情報から学ぶ人権講演会 主 催 第三中学校区地区単位会
第四中学校区	日 時 令和5年2月25日(土) 人権講演会 テーマ 旅たちの詩 ～彼女たちの羅針盤～ 主 催 第四中学校区地区単位会
第六中学校区	日 時 令和4年11月14日(月)～11月20日(日) 第12回ミニ平和展 テーマ 平和の鐘(不滅の灯火) 共 催 冠コミュニティセンター・冠中学校区地区単位会
第七中学校区	日 時 令和4年11月26日(土) ふれあいアップ講座 テーマ 思いが伝わるコミュニケーション 共 催 市立三箇牧公民館
第八中学校区	日 時 令和4年10月17日(月)・19日(水) ふれあいアップ講座 テーマ 全盲のミュージシャンによるピアノ演奏とお話 共 催 市立磐手公民館
第九中学校区	日 時 令和4年6月28日(火) ふれあいアップ講座 テーマ いのちの輝き ～大切な人だからこそ言えない言葉ってありますよね～ 共 催 市立北清水公民館
第十中学校区	日 時 令和4年9月24日(土) 第19回たそがれコンサート 主 催 第十ブロック青少年健全育成連絡協議会・ たそがれコンサート実行委員会
阿武野 阿武山 中学校区	日 時 令和5年2月8日(水) ふれあいアップ講座 テーマ 今、この身で生きる ～誰しもが心清らかに生ききる方法 (グリーンケアを学ぶ)～ 共 催 市立今城塚公民館
冠中学校区	日 時 令和4年11月14日(月)～11月20日(日) 第12回ミニ平和展 テーマ 平和の鐘(不滅の灯火) 共 催 冠コミュニティセンター・第六中学校区地区単位会
川西中学校区	日 時 令和5年1月21日(土) 地域コミュニティ「花火大会」 共 催 川西中・津之江校区青少年を守る会



▲第十中学校区地区単位会：  
「第19回たそがれコンサート」第十中学校の  
生徒と地域住民との交流事業に共催として参加



▲第六中・冠中学校区地区単位会：  
第12回ミニ平和展  
「平和の鐘」(不滅の灯火)



▲如是中学校区地区単位会：  
耳が聞こえない人も、聞こえにくい人も、聞こえる人も同じ空間で楽しく手話を使って交流

校区名	主な活動内容
如是中学校区	日時 令和5年1月29日(日) ふれあいアップ講座 テーマ oioi(オイオイ)と楽しく学ぶ手話 共催 市立如是公民館
芝谷中学校区	日時 令和4年9月22日(木) ふれあいアップ講座 テーマ コロナ後の国際社会と私たちの暮らし 共催 日吉台公民館・日吉台地区コミュニティ連絡協議会
城南中学校区	日時 令和4年11月5日(土) 福祉と人権のまちづくりを考える集い テーマ 震災後のあなたに起こること 共催 春日ふれあい文化センター・若松地区まちづくり推進委員会



様々な講演会、イベント等のご案内、本誌バックナンバーなど掲載  
(<https://www.takatsukijinmati.org/>)



## 三校区合同人権バス研修を実施

各地区単位会が主体となって先進地や研修内容を検討し、今年度は下記のところを視察しました。

中学校区地区単位会名(合同)	主な視察研修先
第二中、第九中、阿武野・阿武山中学校	滋賀県立平和祈念館(滋賀県東近江市)
第七中、第十中、城南中学校、未組織校区	津波防災教育センター・濱口梧陵記念館 稲村火の館(和歌山県有田郡)
第一中、第六中、冠中学校	比叡山延暦寺(滋賀県大津市)
第三中、第四中、芝谷中学校	聴覚障害者福祉協会びわこみみの里(滋賀県守山市)
第八中、如是中、川西中学校	水平社博物館(奈良県御所市)



▲空襲で学友を亡くされた語り部の、77年たった今も自分だけが生き残った罪悪感と無念さを伺い、平和の有難さを実感した勉強会でした(滋賀県立平和祈念館)



▲総勢28名で往訪(鳴門市ドイツ館)

## 社員研修を実施

令和4年11月4日(金)に3年ぶりの社員研修が実施され、「鳴門市ドイツ館」(徳島県)を訪れました。ドイツ館のある場所には、かつて第一次世界大戦時に日本軍の捕虜となったドイツ兵を收容した「坂東俘虜(\*)收容所」がありました。坂東俘虜收容所では、ドイツ兵の人権を尊重し、ビールや煙草、出版等できるかぎりの自主的な生活を認めていたので、模範收容所と評価されています。なかでも盛んだった音楽活動においては、ベートーベンの「交響曲第九番」をアジアで初めてコンサートとして全楽章演奏が行われました。

研修当日の行きのバスではDVD「バルトの楽園」を視聴し、坂東俘虜收容所についての学習をしていたおかげで、ドイツ館での説明や、展示を見た時の理解がより深まりました。

元坂東俘虜收容所俘虜のパウル・クライは第二次世界大戦にも召集されてソ連の捕虜となり、冷酷と非情をいやというほど思い知らされました。その時、彼の脳裏に浮かんだことは、坂東のことだったそうです。「バンドー(坂東)にこそ国境を越えた人間同士の真の友愛の灯がともっていた」「世界のどこに、バンドーのようなラーゲル(收容所)があったでしょうか。世界のどこに、マツエ(松江)大佐のようなラーゲル・コマンダーがいたでしょうか」と語っています。

戦争は最大の人権侵害であると言われます。そんな中でも、日本にこのような收容所があったという事実を知ることができたことは、とても有意義な研修となりました。

(\*)ここでの俘虜とは、捕虜と同じ意味で使われています。



▲甲子園ほどの大きさがあつたとされる收容所のジオラマを見学し、当時「ドイツさん」と呼ばれていた俘虜と地域住民との交流に思いを馳せました

高槻市制  
**80**  
周年記念

人権講演会 心の豊かさを求めて

## ネット社会と人権

～コロナ禍で子どもたちに何が起きているのか～

入場  
無料

手話  
通訳

要約  
筆記

あり



日時 令和5年6月3日(土) 14時～(開場13時30分)

会場 市立生涯学習センター 2階多目的ホール

定員 申込順 300名 ※保育あり(要申込)

申込期間 令和5年5月8日(月)～定員に達するまで



講師

はら きよはる  
**原 清治さん**  
佛教大学副学長

誰もが加害者にも被害者にもならないように

### 「大阪府インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例」 が制定されました(令和4年4月1日施行)



自動車の自動運転、お掃除ロボット、人工知能AIなど。かつてテレビマンガ「鉄腕アトム」で見ていた夢のような「未来社会」が、現実味を帯びてきました。インターネットもそのうちの一つではないでしょうか。日本のインターネット普及率は約9割(2021総務省)。SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)をはじめ、インターネットの普及は手軽に自分に必要な情報を収集・発信したり、リモートワークなど生活が豊かになりました。その一方で、個人情報流出、プライバシーの侵害、誹謗中傷、デマの配信・拡散、出会い系サイト、ワンクリック詐欺、ネットいじめなどの数えきれない人権侵害が問題となっています。

世界には学校に通えない子どもや、病院がない地域に住む高齢者、病人等たくさんおられます。様々な事情で移動が困難な人も、インターネットを正しく活用できれば、平等に教育・医療・保険など必要なサポートを受けることができます。インターネット上で起こりうる人権侵害について理解を深め、一人ひとりが加害者にも被害者にもならないよう意識を持ち、ルールやモラルを守り、全ての人の人権が尊重される豊かなインターネット社会を創り続けていくことが大切です。

### 被害にあった、被害を与えてしまった… 一人で悩まずに、まずは相談してください

#### ●大阪府人権相談窓口

インターネット上において人権に関するお悩みは、まずこちらにご相談ください。

▶電話番号 ☎06-6581-8634

※上記相談電話が繋がらない場合は、☎06-6581-8635

▶メール so-dan@jinken-osaka.jp

詳しくは(<http://www.jinken-osaka.jp>)

#### ●法務省(みんなの人権110番)

▶電話番号 ☎0570-003-110(全国共通人権相談ダイヤル)

または、☎06-6942-9496(大阪法務局)

▶インターネット相談 24時間受付(<https://www.jinken.go.jp>)  
外国語対応可

#### ●違法・有害情報相談センター

インターネット上の違法・有害情報について、対応に関するアドバイスや関連の情報提供等を行っています。

▶インターネット相談 24時間受付

詳しくは(<https://ihaho.jp>)をご覧ください。

### 編集後記

先日、地域の小学校で実施された市民避難訓練に参加した。段ボールベッドの作り方、トイレ用マンホールを使用したトイレの設置方法など体験した。「近年高槻市に於いても、台風・水害・地震など多発して被害も発生している」と説明を受けた。あらためて市より配布されている防災ハンドブック「もしもの時に備えよう」に目を通した。以前配布されたハザードマップと共に目につく所へ引っ掛けてはいるが…。

取りあえず防災物品の点検と補充を早急にしなければ! 普段から防災の意識を高く持ち、自分の生命は自分で守る。そして地域の皆で「支え合う」「助け合う」ことの大切さを強く思った。